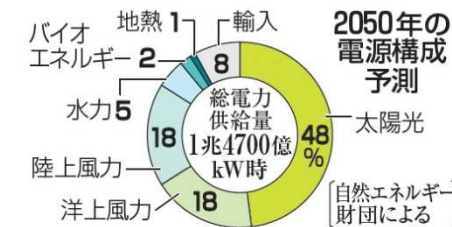


記事を読んで、問いに答えなさい。

2021年3月10日朝刊

50年脱炭素 再生エネで可能



再生可能エネルギーの大幅導入と水素の生産や輸入を組み合わせれば、日本は2050年に温室効果ガスの排出を実質ゼロにできるとの分析結果

自然エネルギー財団分析

再生可能エネルギー財団が9日、発表した。ドイツのシンクタンクとフィンランドの大学との共同研究で、技術の導入可能性とコストなどを基に、排出ゼロを最も低コストで実現する手法を解析した。日本のエネルギー需要は省エネの進行や人口減少によって50年には20年比で54%減少すると予測。再生エネは価格低下が進み、50年には太陽光が総電力供給量の48%、風力発電が36%をカバーするとした。電気自動車（EV）や

を自然エネルギー財団が9日、発表した。ドイツのシンクタンクとフィンランドの大学との共同研究で、技術の導入可能性とコストなどを基に、排出ゼロを最も低コストで実現する手法を解析した。日本のエネルギー需要は省エネの進行や人口減少によって50年には20年比で54%減少すると予測。再生エネは価格低下が進み、50年には太陽光が総電力供給量の48%、風力発電が36%をカバーするとした。電気自動車（EV）や

ヒートポンプの普及が進み、電力需要は現在の約1.5倍の1兆4700億 kWh まで増えるが、水力などを含めた再生エネで全てを賄える。化石燃料輸入費の削減などによって50年のエネルギー関連コストは20年より29%低くなり、エネルギー自給率は12%から68%と向上するとの結果だった。

水素生産や輸入も利用

①自然エネルギー財団による予測において、2050年の電源構成で最も多くなる電源は何か。また、風力発電は何パーセントになるか。

最多() 風力発電()%

②日本の電力需要は今後どうなると予想されるか。

()

③自然エネルギー財団では、どのようにすれば2050年に温室効果ガスの排出を実質ゼロにできると分析したのか。

()

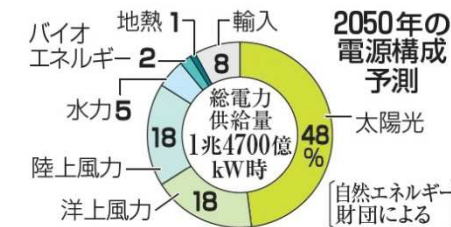
④二酸化炭素の回収装置の技術では脱炭素を実現することが非現実的と考えられる理由を書きなさい。

()

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えなさい。

50年脱炭素 再生エネで可能



再生可能エネルギーの大幅導入と水素の生産や輸入を組み合わせれば、日本は2050年に温室効果ガスの排出を実質ゼロにできるとの分析結果

自然エネルギー財団分析

再生可能エネルギーの大幅導入と水素の生産や輸入を組み合わせれば、日本は2050年に温室効果ガスの排出を実質ゼロにできるとの分析結果

ドイツのシンクタンクとフィンランドの大学の共同研究で、技術の導入可能性とコストなどを基に、排出ゼロを最も低コストで実現する手法を解析した。

日本のエネルギー需要は省エネの進行や人口減少によって50年には20年比で54%減少すると予測。再生エネは価格低下が進み、50年には太陽光が総電力供給量の48%、風力発電が36%をカバーするとした。

電気自動車（EV）や

再生可能エネルギーの大幅導入と水素の生産や輸入を組み合わせれば、日本は2050年に温室効果ガスの排出を実質ゼロにできるとの分析結果

ドイツのシンクタンクとフィンランドの大学の共同研究で、技術の導入可能性とコストなどを基に、排出ゼロを最も低コストで実現する手法を解析した。

日本のエネルギー需要は省エネの進行や人口減少によって50年には20年比で54%減少すると予測。再生エネは価格低下が進み、50年には太陽光が総電力供給量の48%、風力発電が36%をカバーするとした。

電気自動車（EV）や

水素生産や輸入も利用

ヒートポンプの普及が進み、電力需要は現在の約1.5倍の1兆4700億ワットまで増えるが、水素などを含めた再生エネで全てを賄えるとする。

①自然エネルギー財団による予測において、2050年の電源構成で最も多くなる電源は何か。また、風力発電は何パーセントになるか。

最多(太陽光(発電)) 風力発電(36)%

②日本の電力需要は今後どうなると予想されるか。

(現在の約1.5倍の1兆4700億キロワットまで増える。)

③自然エネルギー財団では、どのようにすれば2050年に温室効果ガスの排出を実質ゼロにできると分析したのか。

(再生可能エネルギーの大幅導入と水素の生産や輸入を組み合わせる。)

④二酸化炭素の回収装置の技術では脱炭素を実現することが非現実的と考えられる理由を書きなさい。

(回収装置を付けた火力発電や原子力発電のコストは建設費や設備費がかさむため再生エネルギーよりも高くなるから。)

年 組 名前